

令和元年度『明治杯』全日本選抜レスリング選手権大会



世界選手権行き

3等陸尉 **赤熊猶弥**  
あかぐま なおや  
フリースタイル 97kg 級

3等陸曹 **角 雅人**  
すみ まさと  
グレコローマンスタイル 87kg 級

6月13日から16日までの間、東京都駒沢体育館において全日本選抜レスリング選手権大会（2019 明治杯）が行われた。9月14日からカザフスタンで開催される2019年世界選手権の代表選考を兼ねた本大会は、東京五輪へ直接つながる大会として多くの注目を集め、集まった報道陣はのべ1100人を超えた。体校からは、男子グレコローマン97kg級に出場の岡太一1等陸尉以下36名の選手が出場し、期間中熱戦を繰り広げた。

昨年12月の天皇杯を優勝し、あわせて今大会に優勝した者が世界選手権の代表に選ばれる。両大会の優勝者が異なる場合は7月6日に行われるプレーオフでその代表を決定する。昨年の天皇杯で優勝し代表内定に王手をかけているのはフリースタイル97kg級の赤熊3尉、グレコローマン77kg級の小路3曹、同じくグレコローマン87kg級の角3曹、女子フリースタイル50kg級の入江3尉の4名の選手。

フリースタイル  
**FREESTYLE**

王者赤熊、2連覇で  
世界行き決める

フリースタイル97kg級に出場した昨年明治杯、昨年天皇杯王者の赤熊猶弥3等陸尉は、決勝で宿敵山口剛選手（ブシロード）との戦いとなった。山口選手からの攻撃に、なかなか自分のスタイルに持ち込めない赤熊だったが、ポイント3対2と1点リード。最後までリードを守りきった赤熊が勝利し世界選手権への内定を勝ち取った。試合後赤熊は、「とりあえずホッとした。去年は世界選手権にも出場できなかったの、今年は絶対にこの大会で決めようと思った。反省点は自分で攻めたポイントがなかったこと。今回の反省点を踏まえ、世界選手権では自分のレスリングをしっかり結果を残したい。最低でも5位に入賞し、12月の天皇杯も優勝してオリンピックにつなげたい。」と語った。



フリースタイル97kg級 赤熊3尉  
2連覇 世界選手権へ  
宿敵山口選手との戦いを制し2連覇の赤熊3尉（左）



フリースタイル74kg級 奥井2曹

7月のプレーオフへ

果敢に攻め続け見事優勝の奥井2曹（右）

果敢

に攻め続けた奥井  
プレーオフにつなぐ

フリースタイル74kg級に出場した奥井眞生2等陸曹は予選を順調に勝ち上がると、準決勝では昨年の天皇杯勝者、藤波勇飛選手（ジャパンビバレッジ）との戦いを4分23秒で見事にフォール勝ちし決勝へ駒を進めた。決勝は、昨年明治杯フリースタイル70kg級優勝者、基山仁太郎選手（日本体育大学）との対戦となった。序盤から積極的に攻め続けた奥井は、ポイント8対1で見事に勝利。自身3年ぶり2度目の栄冠を手にし、7月のプレーオフへ望みをつないだ。プレーオフでは準決勝で破った藤波選手と戦う。試合後奥井は「うれしいの一言。とにかく最初から攻めていくことを課題にしている、最後までそれが出せた。しっかり準備してプレーオフにつなげたい。」と決意を新たにされた。

同門対決を制したのは山本、プレーオフで

フリースタイル125kg級に出場した山本泰輝2等陸曹（今年度入隊）は、初戦、準々決勝をともにテクニカルフォール（フリースタイルでは相手とのポイント差が10点以上）で勝利し、準決勝へ駒を進めた。準決勝では昨年天皇杯王者の荒木田進謙選手（athletic camp LION）との対戦を、ポイント3対2で勝利し、決勝では同門の金澤勝利2等陸曹との戦いとなった。迎えた決勝では、リードされた展開となったが、試合終了直前、タックルからの攻撃で逆転に成功。3対2で勝利し、自身2年連続3回目の栄冠に輝いた。試合後山本は、「決勝も準決勝も最初から攻めきれなかった。失敗への不安など、メンタルな部分での課題があった。第2ピリオドで逆転のタックルを決められたのも『ここで決めなければ』という思いが強かった。プレーオフまであまり時間は無い。気を抜かずしっかり練習して勝ちたい。」と語った。



フリースタイル125kg級 山本2曹

7月のプレーオフへ

ノーシードから優勝まで上り詰めた山本2曹（右）は、「決勝も準決勝も最初から攻めきれなかった。失敗への不安など、メンタルな部分での課題があった。第2ピリオドで逆転のタックルを決められたのも『ここで決めなければ』という思いが強かった。プレーオフまであまり時間は無い。気を抜かずしっかり練習して勝ちたい。」と語った。

グレコローマン  
**GRECOROMAN**



グレコローマン87kg級 角3曹

2連覇 世界選手権へ

安定の強さを見せ2連覇の角3曹（右）

グレコローマン87kg級に出場した角雅人3等陸曹は、予選リーグをB組1位で決勝トーナメントへ勝ち進んだ。準決勝で昨年天皇杯3位の塩川貫太選手（クリナップ）を下し決勝へ駒を進めた。同門対決となる鶴田峻大3等陸曹との決勝では、5対3で鶴田に勝利、2年連続2回目の優勝を果たし、世界選手権への内定を決めた。試合後角は「ホッとしている。想像していた通りの展開で勝つことができた。攻めは満点、守りは失点したので0点だった。世界選手権では3位に入賞し東京行きを決めたい。あと3ヶ月、追い込んで練習していけば世界のトップクラスに食らいつけると思う。強化ポイントはグラウンドのディフェンスだ。」と、世界での活躍に闘志を燃やした。

PHOTO GALLERY

選手たちの活躍を自衛隊体育学校ホームページでご覧ください。フォトギャラリーに写真を掲載しています。http://www.mod.go.jp/gsd/phy\_s/index.html

自衛隊体育学校

検索



女子 68kg 級  
今年度入隊  
2等陸曹

# 古市雅子 一步も引かない 大健闘 決勝で女王土性沙羅選手と



女王土性選手に必死で食らいついた古市2曹 (左)

女子フリースタイル 68kg 級に出場した古市雅子2等陸曹 (今年度入隊) は、昨年の天皇杯では 76kg 級で出場、第3位だったが、今大会で 68kg 級に落として挑んだ。

予選リーグ A 組を2位で通過し決勝トーナメントへ駒を進めた。迎えた準決勝では渡利璃穂選手 (アイシン・エイ・ダブリュ) との対戦を9対4で勝利し決勝へ進んだ。

決勝は今回2度目の対戦となる土性沙羅選手 (東新住建)。予選トーナメントではポイント1対2で負けを喫した。迎えた決勝で古市は序盤から積極的な攻撃で土性選手からポイントを奪いリード。試合終了10秒前、土性選手の気迫のこもった反撃にポイントを奪われ4対3で惜しくも逆転負けとなった。

試合後古市は、「土性選手とは2回対戦することができ、決勝では自力でポイントをとってリードもできた。最後は自分の気持ちが負けてしまって、相手の実力が上だった。自分のレスリング自体は前より進歩していると思うがこれが今の実力。今後の目標をしっかりと作って練習していきたい。」と語った。

グレコローマン 82kg 級  
むかい さとぎ  
今年度入隊 1等陸士

# 向井識起 父の意を受け継ぎ 大躍進

1984年ロス五輪、1988年ソウル五輪の2大会に我が体育学校からグレコローマンで出場の向井孝博選手 (特別体育課程第20期生) を父に持つ向井識起1等陸士が、今大会で準優勝の大躍進を遂げた。向井は昨年入隊後、第32普通科連隊から集合訓練に参加し、今年4月、特別体育課程の学生として入校した。

向井は初戦、昨年天皇杯3位の北村公平選手 (京都クラブ) を3対1で下し、準々決勝では昨年天皇杯2位、同門の川村洋史陸士長に対して3対2で勝利する快進撃を見せた。

準決勝を勝ち進んだ向井は決勝で、昨年の天皇杯王者、岡嶋勇也選手 (警視庁) との対戦となった。

試合は岡嶋選手の連続攻撃で、3分33秒0対9のテクニカルフォール負け (グレコローマンでは相手とのポイント差が8点以上) となったが、今後の活躍に期待したい。



準優勝の躍進を見せた向井1士 (右)

## 総合成績 (メダリストのみ)

### フリースタイル

- 優勝** 97kg 赤熊猶弥 3等陸尉 (福岡県)  
74kg 奥井眞生 2等陸曹 (和歌山県)  
125kg 山本泰輝 2等陸曹 (静岡県)
- 第2位** 86kg 松坂誠應 2等陸曹 (長崎県)  
125kg 金澤勝利 2等陸曹 (岩手県)
- 第3位** 86kg 村山貴裕 2等陸曹 (青森県)  
97kg 園田平 2等陸曹 (滋賀県)  
125kg 田中哲矢 2等陸曹 (鹿児島県)

### グレコローマン

- 優勝** 87kg 角 雅人 3等陸曹 (佐賀県)
- 第2位** 77kg 小路直頌 3等陸曹 (福岡県)  
82kg 向井識起 1等陸士 (広島県)  
87kg 鶴田峻大 3等陸曹 (沖縄県)  
97kg 志喜屋正明 陸士長 (沖縄県)
- 第3位** 60kg 清水早伸 3等陸曹 (岐阜県)  
67kg 北岡祐介 2等陸曹 (和歌山県)  
77kg 桜庭功大 2等陸曹 (秋田県)  
82kg 川村洋史 陸士長 (静岡県)  
97kg 岡 太一 1等陸尉 (鳥取県)

### 女子フリースタイル

- 第2位** 68kg 古市雅子 2等陸曹 (熊本県)
- 第3位** 50kg 入江ゆき 3等陸尉 (福岡県)

世界選手権代表選考 (プレーオフ) に出場する体校選手4名

応援よろしくお祈いします!

## 7月6日(土) プレーオフ! 和光市総合体育館

今大会の優勝者 (昨年全日本で2位以下)

男子フリースタイル 74kg 級: 2等陸曹 奥井眞生  
男子フリースタイル 125kg 級: 2等陸曹 山本泰輝

昨年の全日本選手権優勝者 (今大会で2位以下)

男子グレコローマンスタイル 77kg 級: 3等陸曹 小路直頌  
女子フリースタイル 50kg 級: 3等陸尉 入江ゆき

PHOTO GALLERY 自衛隊体育学校フォトギャラリー

選手たちの活躍を自衛隊体育学校ホームページでご覧ください。フォトギャラリーに写真を掲載しています。 [http://www.mod.go.jp/gsd/phy\\_s/index.html](http://www.mod.go.jp/gsd/phy_s/index.html)

自衛隊体育学校

検索

